

CyberLink

DVD Suite

ユーザーガイド

CyberLink

The CyberLink logo features the brand name in a bold, italicized sans-serif font. A red swoosh underline is positioned beneath the text, starting under the 'C' and ending under the 'k'.

著作権について

All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトコピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において CyberLink DVD Suite は情報、サービス、または CyberLink DVD Suite に関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらずいかなる保証も行わず現状のまま提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CYBERLINK がこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

CyberLink DVD Suite は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, MLP Lossless, The "AAC" logo, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992–2004 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996–2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996–2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地	CyberLink Corporation 15F, #100, Minchiuan Road, Shindian City Taipei 231, Taiwan
Web サイト	www.cyberlink.com
電話	886-2-8667-1298
Fax	886-2-8667-1300

Copyright © 2008 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

紹介	1
CyberLink DVD Suite	3
PowerStarter	3
メニューアイコン	4
クイックアクセスボタン	7
バージョン表	9
システム要件	11
音楽	13
音楽ディスクの作成	14
音楽ディスクの書き込み	14
オーディオ CD の取り込み	16
データ	17
データディスクの作成	18
ディスクのフォーマット	20
ディスクのフォーマット	20
InstantBurn の使い方	21
ムービープレイヤー	23
メディアの再生	24
対応するメディアタイプと形式	24
PowerDVD でビデオディスクを再生	25
Movie Remix の再生	25

再生コントロール	26
メインコントロール	26
追加機能	29
ムービー情報ページ	29
MoovieLive	29
ムービーコレクション	30
Movie Remix	30
設定	31

ビデオ&フォト 35

ビデオディスクの作成	36
ディスク形式の選択	36
メディアのキャプチャ/インポート（読み込み）	36
ディスクのメニューページのカスタマイズ	38
最終出力	39
ビデオの編集	40
追加コンテンツの追加	41
編集オプション	42
Magic ツール	43
エフェクトの追加	44
ムービーの出力	44
写真の編集	45
写真とビデオの管理	46
メディアライブラリ	47
メディアウィンドウ	47
トレイ	48
お気に入り	48
写真の補正	49
写真を使ってメディアを作成	50
写真の共有	51
ビデオの補正	52

ビデオを共有する	53
DVD フォルダの書き込み	54
コピー&バックアップ	55
データディスクのコピー	56
ムービー DVD のコピー	57
PC のバックアップとリストア	59
データのバックアップ	59
データのリストア	61
ユーティリティ	65
ディスクイメージの作成	66
ディスクイメージの書き込み	67
ディスクの消去	68
ディスクラベルの印刷	69
ステップ 1 - ラベル種類の選択	70
ステップ 2 - ラベルテキストの編集	70
ステップ 3 - レイアウトの編集	70
ステップ 4 - 印刷	70
テクニカルサポート	71
テクニカルサポートにお問い合わせになる前に	72
Web サポート	73
索引	75

第 1 章：

紹介

CyberLink DVD Suite は、デジタルエンターテイメントをコンピュータで楽しむマルチメディアです。CyberLink DVD Suite には、多数の CyberLink 製品が入っており、メディアの再生から作成までさまざまな用途で使えます。

CyberLink DVD Suite の機能は、以下の通りです。

- 世界 No.1 の DVD プレイヤーでムービーを鑑賞。
- ムービーコレクションで、ディスクコレクション、お気に入りムービー、Movie Remix をチェック。
- MoovieLive web サイトで、ムービーのレビューを読んだり、他の人と Movie Remix を共有。
- 音楽やデータをさまざまな形式のディスクに書き込み。
- さまざまな機能が付いた編集ツールでビデオを編集。
- Flickr、Freesound、DirectorZone から、コンテンツをダウンロード。
- モーションメニュー付きの Blu-ray ディスク*、AVCHD*、DVD ディスクをオーサリング。
- 写真やビデオを管理、編集、共有。
- 写真（BGM に合わせたスライドショーを含む）でメディアを作成。
- データのバックアップとリストア。
- ディスクラベルの作成と印刷。
- 便利なディスクツールを使用（ディスクの消去や作成、ディスクイメージの書き込み）。
- データをドラッグ&ドロップで簡単にディスクに書き込み。

注： *CyberLink Suite Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

CyberLink DVD Suite

CyberLink PowerStarter のインターフェイスを使うと、全ての CyberLink DVD Suite のプログラムにアクセスできます。また、CyberLink の多様なホームエンターテイメントソフトウェアに簡単にアクセスし、さまざまな作業を行ったり、メディアファイルを管理したり、ムービーを作成してディスクに整理したり、ディスクに書き込んだりできます。

PowerStarter

CyberLink PowerStarter の表示は、以下の通りです。

機能 / プログラム



メニューアイコン

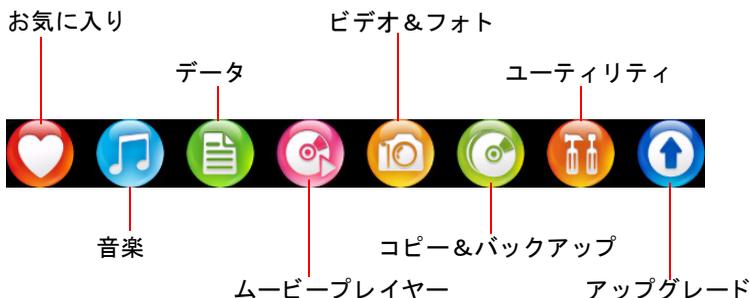
クイックアクセスボタン

注： お使いのバージョンで表示されるユーザーインターフェイスが異なる場合、をクリックし、ヘルプファイルを確認してください。VGAの最小必要条件を満たさないコンピュータには、背景画像は表示されません。

CyberLink PowerStarter のインターフェイスから、CyberLink のプログラムを起動したり、アップグレード / アップデートが簡単にできます。

メニューアイコン

メディアの種類や作業内容に合ったメニューアイコンをクリックします。



ここでは、CyberLink PowerStarter のさまざまな機能を紹介します。

お気に入り



[お気に入り]メニューを使用すると、よく使う機能やプログラムを登録して、よりアクセスしやすくなります。デフォルトでは、このウィンドウにはアイコンがありません。

[お気に入り]メニューに機能やプログラムを登録するには、適切なメニューアイコンをクリックして対象の機能やプログラムを表示します。マウスを移動させて、をクリックします。

[お気に入り]メニューの機能やプログラムを削除するには、マウスを移動させて、をクリックします。

音楽



[音楽]メニューには、音声ファイルをディスクに書き込んだり、さまざまな形式に変換したりする機能があります。また、音楽CDをハードディスクに取り込むこともできます。

データ



[データ]メニューは、データファイルのディスク書き込み機能があります。CyberLink InstantBurn でディスクをフォーマットして、リライタブルディスクにドラッグ&ドロップして書き込むこともできます。

ムービープレイヤー



[ムービープレイヤー]メニューのナビゲーションコントロールを使って、インタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。

ビデオ&フォト



[ビデオ&フォト]メニューの機能は以下の通りです。

- さまざまなソースからビデオ&フォトをキャプチャ&インポート。
- ビデオ&フォトを管理。
- ビデオ&フォトを編集、修正、微調整。
- BGM に合わせた動くスライドショーを作成。
- プロ並のモーションメニューを含むディスクをオーサリング。

コピー&バックアップ



[コピー&バックアップ]メニューには、ディスクやDVDムービーのコピー機能があります。大切なデータをすべてバックアップし、必要に応じてリストアすることもできます。

ユーティリティ



[ユーティリティ]メニューには、ディスク管理機能（ディスクイメージの作成と書き込み、ディスクコンテンツの削除、ディスクラベルの作成と印刷など）があります。

注： アイテムが増えすぎて CyberLink PowerStarter のスペースがいっぱいになってしまったら、  ボタンを使用して左右にスクロールします。

アップグレード



[アップグレード]ウィンドウから、コンピュータにインストールされている CyberLink 製品の製品バージョン情報が確認できます。一覧には、バージョン番号、アップグレードやパッチの有無を示すアイコンが表示されます。

最新バージョンを表示する

CyberLink PowerStarter は最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。 をクリックすると、手作業でこの情報を更新できます。CyberLink PowerStarter はコンピュータをチェックし、利用可能な CyberLink CyberLink 製品の最新のバージョン番号を全て表示します。

アップデートをチェックする

アップデートがある場合、 ボタンが有効化されます。アップデートをダウンロードするには、 をクリックして、CyberLink の Web サイトにアクセスします。

[**無料アップデート**]の  をクリックして、最新アップデートのダウンロードページを開きます。ソフトウェア[**アップグレード**]の  をクリックして、製品のアップグレードページを開くこともできます。

クイックアクセスボタン

プログラムの右下に、[バージョン情報]、[設定]、[CyberLink 製品] の 3 つのクイックアクセスボタンがあります。

バージョン情報 CyberLink 製品



設定

[バージョン情報] ウィンドウ

 をクリックして、PowerStarter のバージョン情報を表示します。

[設定] ウィンドウ

CyberLink PowerStarter の動作を設定するには、 ボタンをクリックし、対象の設定を選択します。

- **プログラムを閉じると PowerStarter に戻る** : インターフェイスからアクセスしたプログラムを閉じると、CyberLink PowerStarter のメインウィンドウに戻ります。
- **最新バージョンを自動的にチェックする** : CyberLink PowerStarter はソフトウェアの最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。
- **CyberLink の製品情報を取得する** : アップグレードページのバナーや広告の表示 / 非表示を切り替えます。
- **システムのデフォルト言語を使う** : CyberLink PowerStarter の表示言語をコンピュータのオペレーティングシステムと同じ言語にします。
- **他の言語を選択** : オペレーティングシステムと異なる言語を使いたい場合に、このオプションを選択します。CyberLink PowerStarter で使用する言語をドロップダウンリストから選択します。

インターフェイスの背景

CyberLink PowerStarter は、ナビゲートに従って、ユーザーインターフェイスの画像を動的に表示します。このオプションで、表示する画像を指定します。

- **デフォルト画像を使う**：CyberLink PowerStarter ユーザーインターフェイスの背景のデフォルト画像を使います。
- **マイ画像を使う**：このオプションを選択して、[参照]をクリックし、CyberLink PowerStarter ユーザーインターフェイスの背景で表示する画像を含むフォルダを指定します。

[CyberLink 製品] ウィンドウ

CyberLink 製品すべてを見るには、 をクリックします。プログラム名のいずれかを選択し、対応するソフトウェアを開きます。

注： CyberLink PowerStarter に含まれるプログラムは、コンピュータにインストールした製品、購入したバージョンによって異なります。詳しくは、9 ページの「バージョン表」を参照してください。

バージョン表

Cyberlink DVD Suite 7.0 のバージョンの違いは、以下の通りです。

Product	CDS 7.0 Ultra	CDS 7.0 Pro*	CDS 7.0 Deluxe
PowerDVD	8.0 BD 5.1-Channel Dolby Digital + 2-Channel DTS	8.0 DVD 5.1-Channel Dolby Digital	8.0 DVD 5.1-Channel Dolby Digital
PowerDirector	7.0 HE*	7.0 HE*	7.0 DE*
PowerProducer	5.0 Ultra (Dolby 5.1 あり)	5.0 Ultra (Dolby 5.1 あり)	5.0 DVD (Dolby 5.1 あり)
MediaShow	4.0 DE*	4.0 DE*	4.0 DE*
Power2Go	6.0 Deluxe	6.0 Deluxe	6.0 Deluxe
PowerBackup	2.5 Standard	2.5 Standard	2.5 Standard
Instant Burn	5.0 Standard	5.0 Standard	5.0 Standard
PowerDVD Copy	1.0 Standard	1.0 Standard	1.0 Standard
LabelPrint	2.5 Standard	2.5 Standard	2.5 Standard
PhotoNow	1.0 Standard	1.0 Standard	1.0 Standard
PowerStarter	7.0	7.0	7.0
BD Advisor	2.0	2.0	-

注： *CDS 7.0 Pro は、日本国内では販売していません。

注： *HE / DE は、特定バンドル向けの製品名であり、単独製品とは仕様が異なります。

注： ご利用の CyberLink DVD Suite のバージョンによっては、一部の機能やプログラムが使用できない場合があります。特定の製品で提供されている機能に関する情報は、製品の Readme またはヘルプファイルを参照してください。

システム要件

このプログラムを実行するための最小システム要件は以下の通りです。使用するシステムがこの要件を満たしていても、一部の作業を行うためにはシステムの拡張が必要になる場合があります。

最小システム要件	
OS	Microsoft Windows Vista / XP
画面解像度	1024 x 768、16 ビットカラー以上
メモリ	512 MB (1 GB 以上推奨) HD ビデオ編集には 2GB DDR2 以上を推奨
CPU	DVD 画質 (MPEG-2) : Pentium 4 2.4 GHz または AMD Athlon XP 2200+ 高画質 MPEG-4 およびストリーミング (WMV、QuickTime、RealVideo) : Pentium 4 2.4 GHz または AMD Athlon XP 2400+ AVCHD および MPEG-2 HD (Blu-ray ディスク書込み) : Pentium Core 2 Duo E6400 または Athlon 64 X2 5000+
VGA	Intel® 945GM 以上 64MB-VRAM 以上 一部のアニメーション効果が使用できない、または低いグラフィックシステムが使用される場合があります。
HDD 容量	最小 5 GB (SmartSound Quicktrack Library には 400MB が必要) DVD の出力には 10GB 必要 (20 GB 推奨) Blu-ray ディスク / AVCHD の出力には 60 GB 必要 (100GB 推奨)

最小システム要件

DV	OHCI IEEE 1394 対応デバイス
ビデオキャプチャデバイス	WDM 規格準拠の PCI または USB1.0/2.0 キャプチャデバイス (WDM ドライバ対応 PC カメラや TV チューナなど) OHCI 対応 IEEE1394 接続 DV カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照) USB2.0 接続の DVD カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照) Sony MicroMV/AVCHD/HDV カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照)
書き込み	CD または DVD 書き込みドライブ (CD-R/RW、DVD+R/RW、DVD 𠂇/RW など) は VCD/DVD/SVCD/AVCHD の書き込みが可能。 Blu-ray ディスク書き込みドライブは、Blu-ray ディスクへの書き込みが可能。

注 : VGA の最小必要条件を満たさないコンピュータでは、CyberLink PowerStarter に背景画像は表示されません。

第 2 章：

音楽

[音楽] 機能を使うと、CyberLink Power2Go で音楽ファイルを CD や DVD に書き込むことができます。また、音楽 CD からハードディスクに音楽を取り込むこともできます。



注： コンピュータに音楽ファイルを書き込んだり、取り込んだりしたりするためにコーデックが必要です。Windows Media Player 11 がインストールされていることを確認してください。

音楽ディスクの作成

CyberLink Power2Go を使用すると、音楽ディスクが簡単に作成できます。通常の CD プレイヤーで再生できる音楽 CD や、MP3 や WMA ファイルを含む CD や DVD も作成できます。

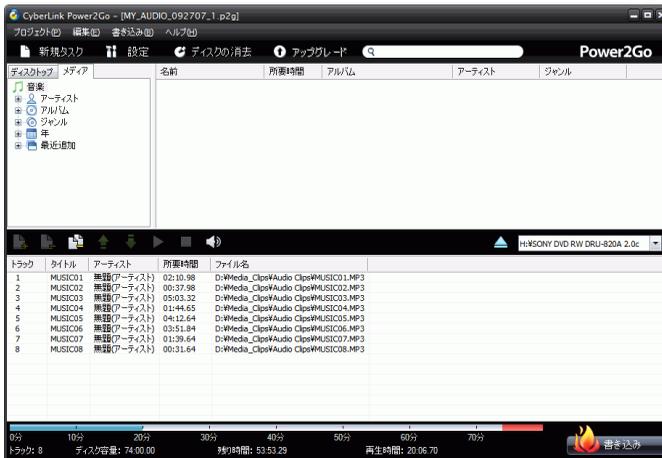
出力ディスクが異なっても、すべて同じ作成手順で作成できます。

注： このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

音楽ディスクの書き込み

音楽ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter のウィンドウで、音楽ディスクのタイプを選択します。音楽ディスクウィンドウが表示されます。



2. 検索ペインを使ってディスクに書き込みたいファイルを選択します。[メディア]タブから、CyberLink Media Library サービスから、アルバム、アーティスト、ジャンル、最近追加または開いた音楽ファイルを検索することができます。

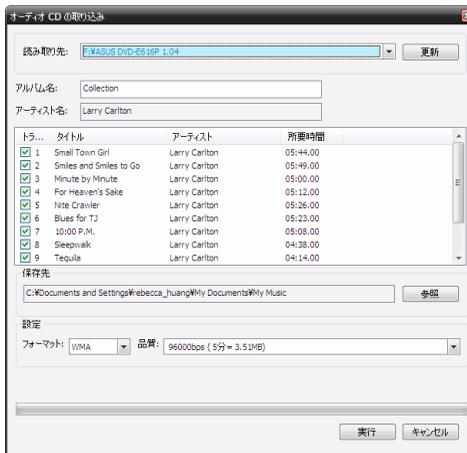
3. 書き込みたい音楽ファイルを選択し、書き込み先ディスクにドラッグするか、 ボタンをクリックします。
4. 書き込みたい音声をすべて追加したら、 をクリックします。
5. 必要に応じて、[音楽] (オーディオ CD、MP3 音質、WMA 音質) タブや[共通]、[書き込みドライブ] タブの設定を変更してください。
6. 準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。ディスクの書き込みを開始します。
7. 書き込みが完了したら、ダイアログボックスからオプションを選択して以下を行います。
 - [ログの表示] をクリックして、書き込みログを表示します。ログはデフォルトのテキストエディタで開き、見たり、保存したりします。
 - ディスクのラベルを印刷するには [ラベル印刷] をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。詳細は、69 ページの「ディスクラベルの印刷」を参照してください。
 - [OK] をクリックしてダイアログを閉じて、終了します。

オーディオ CD の取り込み

音声の取り込み機能を使用すると、音声ファイルを含む CD からオーディオトラックを MP3、WAV、WMA 形式でハードディスクに取り込みます。

音声ファイルをハードディスクに取り込む方法は、以下の通りです。

1. CyberLink PowerStarter のウィンドウで [オーディオ CD の取り込み] をクリックします。



2. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
 - ディスクを交換したり、違うドライブに変更する場合は、[更新] をクリックして最新情報を確認します。
3. ハードディスクに取り込むオーディオトラックを選択します。
4. オーディオトラックを取り込むフォルダを指定します。
5. [実行] をクリックすると、ファイルの取り込みが開始します。CyberLink Power2Go は指定したフォルダにファイルを取り込みます。

第3章：

データ

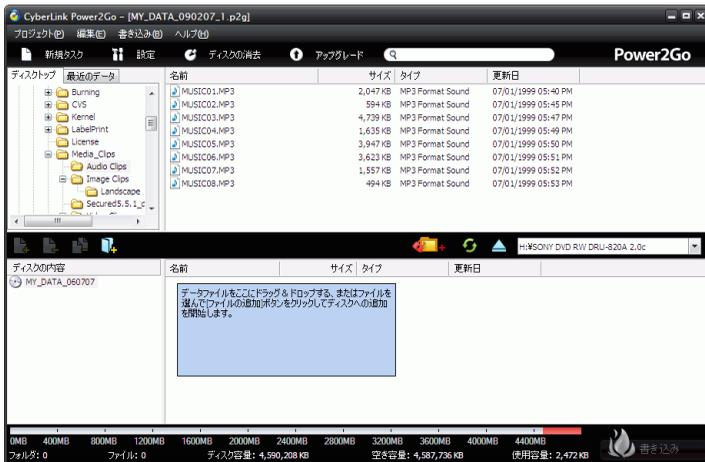
CyberLink DVD Suite には、CyberLink Power2Go によるデータディスク作成をはじめとした、いろいろな書き込み機能があります。CyberLink InstantBurn で Blu-ray ディスク、DVD、CD に書き込んだり、フォーマットすることができます。



データディスクの作成

データディスクの書き込みは、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go のウィンドウで、データディスクのタイプを選択します。データディスクウィンドウが開きます。



2. 検索ペインを使ってディスクに書き込みたいファイルを選択します。[最近のデータ]タブから、CyberLink Media Library サービスを使って、最近追加または開いたデータファイルを検索します。
3. 書き込むファイルやフォルダを選択し、書き込み先ディスクにドラッグするか、 ボタンをクリックします。
4. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。
5. 必要に応じて、[データ]、[共通]、[書き込みドライブ]タブの設定を変更します。
6. 準備ができたなら、[書き込み]をクリックします。

7. 書き込みが完了したら、ダイアログボックスからオプションを選択して以下を行います。
 - [**ログの表示**] をクリックして、書き込みログを表示します。ログはデフォルトのテキストエディタで開き、見たり、保存したりします。
 - ディスクのラベルを印刷するには [**ラベル印刷**] をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。詳細は、69 ページの「ディスクラベルの印刷」を参照してください。
 - [**OK**] をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。

ディスクのフォーマット

CyberLink InstantBurn を使用すると、データをフォルダ単位やファイル単位でディスクにドラッグ&ドロップするだけで、簡単に DVD や CD に書き込むことができます。ディスクがいっぱいになるまで書き込むことができます。不要なファイルやフォルダをゴミ箱に入れて削除することもできます。

注： CyberLink DVD Suite をインストールしても、デフォルトでは CyberLink InstantBurn は、Windows Vista を搭載するコンピュータにはインストールされません。

データを DVD や CD にドラッグ&ドロップする前に、ディスクをフォーマットする必要があります。CyberLink InstantBurn はパケット書き込みのソフトウェアで、UDF (Universal Disc Format) 形式でフォーマットします。

注： InstantBurn でフォーマットしたディスクは、CyberLink Power2Go などのほかの書き込みソフトウェアで使用することはできません。

ディスクのフォーマット

CyberLink InstantBurn でディスクをフォーマットするには、次の操作を行います。

1. フォーマットしていないブランクディスクをドライブにセットします。
2. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[ディスクのフォーマット]** を選択します。InstantBurn ウィンドウが表示されます。
3. フォーマットするディスクをセットしたドライブを選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. **[プロパティ]** をクリックして、ディスクのプロパティを確認します。内容が正しければ、**[次へ]** をクリックします。

5. ボリュームラベルを入力して、[完了] をクリックします。ボリュームラベルはディスクのフォーマット後に変更できます。
6. 確認のプロンプトが表示されたら、[OK] をクリックしてフォーマットを開始します。

InstantBurn の使い方

始める前に、[InstantBurn] アイコンが画面右下のシステムトレイに表示されていることを確認します。

アイコン	詳細
	CyberLink InstantBurn が実行されていますが、ドライブにディスクがセットされていない、またはセットされているディスクをフォーマットする必要があります。
	CyberLink InstantBurn が実行されており、すぐに使用できます。

注： このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ディスクへの書き込み

1. [マイコンピュータ] を開いて、コピー先のディスクドライブアイコンを表示します。
2. コピーするファイルやフォルダを表示する別のウィンドウを開きます。ステップ 1 で開いたウィンドウにかぶっていないことを確認します。
3. ウィンドウのファイルやフォルダをクリックし、ディスクドライブアイコンにドラッグします。ファイル / フォルダがディスクにコピーされます。

対応するディスク

Instant Burn 5.0 は、リライタブル（書き換え可能）、およびライトワンス（1 回限りの書き込み）メディアに対応します。CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-RE、BD-R ディスクに対応します。

第4章：

ムービープレイヤー

CyberLink DVD Suite から、通常の DVD プレイヤーと同様に使える CyberLink PowerDVD にアクセスできます。



CyberLink PowerDVD を使うと、Movie Remix ルームでお気に入りムービーのマイバージョンを作成したり、ムービーコレクションで、ムービー、お気に入り、Movie Remix をチェックすることもできます。

注： このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

メディアの再生

CyberLink PowerDVD は、多様なメディアに対応します。ハイビジョンコンテンツや DVD から、ビデオファイルやオーディオ CD まで、あらゆるデジタルメディアの再生ができます。

対応するメディアタイプと形式

CyberLink PowerDVD が対応する光ディスクとファイルの形式は、次の通りです。

光ディスクタイプ	ファイル形式
Blu-ray ディスク *	BDAV、BDMV
DVD	DVD-Video、AVCHD*、AVCREC*、DVD-VR、DVD+VR
CD	VCD、SVCD、Audio

注： * CyberLink DVD Suite Ultra (Blu-ray ディスクバージョン) でのみご利用いただけます。

CyberLink PowerDVD が対応するファイルの形式は、以下の通りです。

音声形式 : .MP3、.M3U、.MP2、.M4A、.WAV、.WMA、.AOB、.AC3、.CDA、.MID、.RMI

ビデオ形式 : .MPG、.MPEG、.AVI、.DAT、.WMV、.ASF、.VOB、.DVR-MS、.MOD、.TOD、.M2TS、.MP4、.DV、.EVO、.DIV、.DivX、.MPV、.M1V、.TRP、.M2V、.AVC、.MOV、.RMX、.TIVO、.VRO

PowerDVD でビデオディスクを再生

ディスクドライブにビデオディスクを挿入すると、再生が自動的に始まります。CyberLink PowerDVD の起動時に、ディスクドライブにすでにディスクが入っている場合は、必要に応じてドライブを選択( をクリック)して、[再生]ボタンをクリックします。

再生中に、[停止]か[終了]をクリックし、その後に他のファイルやディスクを再生しても、前のディスクを入れ直すと、中断した再生位置から再生を開始します。

オートレジューム機能は、前回ディスクを停止した位置を記録します。[レジューム]をクリックして、前回中断したシーンから視聴を継続することができます。



Movie Remix の再生

Movie Remix は、ムービーのパロディーまたは別バージョンです。Movie Remix は、CyberLink PowerDVD の Movie Remix ルームで作成、または、MoovieLive の Web サイトからダウンロードできます。

注： Movie Remix を再生するには、ディスクドライブに原版的ムービーディスクが挿入されている必要があります。

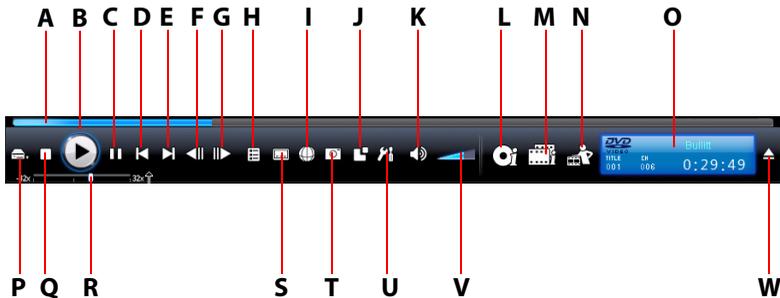
CyberLink PowerDVD でムービーを見終えたら、MoovieLive からこのムービーの Movie Remix を探してみます。その Movie Remix をダウンロードして、追加ムービーをお楽しみください。

再生コントロール

CyberLink PowerDVD の再生コントロールを使うと、ディスクや他のメディアを操作し、プログラムの主な機能に簡単にアクセスすることができます。

メインコントロール

CyberLink PowerDVD のメインの再生コントロールを使うと、使用頻度の高い機能に簡単にアクセスできます。



ボタン / アイコン	ホットキー	詳細
A		ダイナミックスクロールバー 経過時間を表示します。スライダを動かして、他のロケーションに移動します。
B	再生	メディアの再生をします。
C	一時停止	再生を一時停止します。
D	前のチャプタ	前のチャプタに戻ります。

ボタン / アイコン	ホットキー	詳細
E 次のチャプタ	N	次のチャプタに進みます。
F コマ戻し	E	前のフレームに戻ります。
G コマ送り	T	次のフレームに進みます。
H メニュー	L	ディスクメニューにアクセスします。
I 音声切り換え	H	オーディオストリームを切り換えます。(例:他の言語)オーディオストリームの数は、ディスクによって異なります。
J その他の機能		A/Vオプション、ナンバーパッド、その他ボタンなどの追加機能にアクセスします。
K ミュート	Q	音量をミュートします。
L ムービー情報ページを表示	F2	再生中ムービーの詳細情報とレビューにアクセスします。
M ムービーコレクションを表示	F3	ムービーコレクションにアクセスします。
N Movie Remix 設定を表示	F4	Movie Remix ルームにアクセスします。
O 情報ディスプレイ		再生中メディアの再生情報(再生時間を含む)を表示します。

	ボタン / アイコン	ホットキー	詳細
P	ドライブ / プレイモードの選択	Ctrl+O	再生するメディアソースの選択をします。
Q	停止	S	再生を停止します。
R	スピードコントロール	B/F	速度を速めて早送り / 巻き戻しします。
S	字幕切り換え	U	再生中に字幕を切り替えます。
T	スナップショット	C	画像ファイルとして、ビデオコンテンツをキャプチャします。(Blu-ray ディスクの再生画像はキャプチャできません)
U	PowerDVD の設定	Ctrl+C	すべての設定はここで行えます。
V	音量調整	+,-	音量を下げたり、上げたりします。
W	イジェクト	Ctrl+E	ディスクをディスクドライブから取り出します。

追加機能

CyberLink PowerDVD の追加機能を使えば、ムービーがさらに楽しめます。Movie Remix ルームでお気に入りムービーのマイバージョンを作成したり、ムービーコレクションのディスクを管理したり、ムービー情報ページでムービーの詳細情報を表示したりできます。

ムービー情報ページ

[ムービー情報] ページには、再生中のディスクの詳細情報が表示されます。MoovieLive Web サイトからムービー情報をダウンロードします。また、すでに再生したディスクに関しては、コンピュータから保存データを検索します。

ムービー情報ページを表示するには、メインコントロールパネルの  を選択します。

[ムービー情報] には、製作情報、関連の Movie Remix、視聴履歴、ディスク技術情報等が表示されます。

MoovieLive

MoovieLive は、ムービーの視聴および共有が楽しめるウェブサービスです。Moovie Live でできることは、以下の通りです。

- ムービーの格付け、レビュー、視聴情報の表示。
- ムービーの詳細情報を表示。
- ムービー情報に、レビュー、格付け、更新内容を追加。
- ムービーの Movie Remix を視聴、ダウンロード。
- ムービーのディスク情報を表示。

ムービーコレクション

ムービーコレクションでは、お気に入りのムービー、所有するムービー、作成&ダウンロードした Movie Remix の一覧を表示します。

ムービーコレクションを表示するには、メインコントロールパネルの  を選択します。

右上隅にある検索機能を使って、コレクション中のムービーや Movie Remix を検索します。

Movie Remix

Movie Remix ルームでお気に入りムービーのマイバージョンやパロディーを作成します。作成した Movie Remix を、Moovie Live Web サイトにアップロードし、ムービーファンと共有します。Movie Remix ルームを表示するには、メインコントロールパネルの  を選択します。

設定

[設定]ウィンドウでは、CyberLink PowerDVD を好みに合わせて設定します。[設定]ウィンドウは、再生コントロールの[設定]  ボタンをクリックするか、キーボードの Ctrl + C を押すと表示されます。

プレイヤーの設定

[全般] タブで行える設定は、以下の通りです。

- デフォルトの CD/DVD-ROM ドライブを設定する。
- Windows 起動時に、自動的に PowerDVD を起動するように設定する。
- 特定の機能をカーソルでポイントした際に、ツールチップ (ポップアップ) を表示するように設定する。
- DVD+VR 規格を優先する。
- ソフトウェアのアップデートを自動的に確認する。
- 再生時に、デフォルトでモニタの画面を最大に使用する場合、[フルスクリーンで再生する]を有効化する。
- [再生画面を、常に手前に表示する]を選択して、CyberLink PowerDVD ビデオを最前面のアプリケーションとする。
- [このムービーを格付け]ダイアログを表示するか決める。
- プレイヤーの詳細な設定を行うには、[詳細設定]をクリックする。

注： 詳細設定に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

操作パネルの設定

この設定では、CyberLink PowerDVD UI スキン、スタートアップ画像、表示言語の選択ができます。

MoovieLive の設定

[MoovieLive] タブは、MoovieLive の Web サービスを使い、CyberLink PowerDVD のインタラクションを設定します。

Movie Remix の設定

[Movie Remix の設定] タブでは、Movie Remix を作成、インポートする時の環境設定を設定できます。

ビデオの設定

ビデオ再生オプションの設定を行うには、以下の機能を使います。

- [ハードウェアアクセラレーション] を有効にして、IDCT および動き補償（モーションコンペンセーション）をアクティブにします。このオプションを有効にすると、一部の機能は使用できなくなります。
- ドロップダウンメニューから [カラープロファイル] を選択し、再生中にビデオコンテンツのカラースキーム全体を変更します。
- [TrueTheater Lighting（CyberLink Eagle Vision 2）] を選択して、輝度 / コントラスト / 彩度の比率を動的に調整します。これにより、非常に暗いシーンから明るいシーンまで幅広い映像が入ったムービーを再生する際にも、色の設定を変更する必要はなくなります。[自動] オプションを選択して、好みの TrueTheater Lighting レベルを適用します。[手動] を選択し、レベルスライダを使って、TrueTheater Lighting をお好みのレベルに調整します。
- TrueTheater Lighting 使用時は [ディスプレイモード] を選択し、ビデオの再生時に表示する方法を選択します。
- ムービーをフルスクリーンで見るとき Read-It-Clearly 機能を有効にするには、[フルスクリーンモードの時、自動で Read-It-Clearly を適用する] を選択します。

- さらに詳細な映像設定を行うには、[**詳細設定**]をクリックします。詳細設定に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

音声の設定

以下の機能を使って、音声再生オプションの設定を行います。

- ドロップダウンメニューから[**スピーカ設定**]を選択します。
- ドロップダウンメニューから[**サラウンド選択**]を選択します。
- さらに詳細な音声設定を行うには、[**アドバンス設定**]をクリックします。

注： 詳細設定に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

情報の設定

DVDに関するさまざまな情報を設定することができます。

Blu-ray ディスクの設定

[Blu-ray ディスク] タブ * では Blu-ray ディスクを再生するための設定（ローカルストレージフォルダの設定やリージョンコードの選択など）を行います。

注： * CyberLink DVD Suite Ultra（Blu-ray ディスクバージョン）でのみご利用いただけます。

第5章：

ビデオ & フォト

CyberLink DVD Suite の [ビデオ & フォト] 機能では、CyberLink PowerProducer を使って、ビデオコンテンツのキャプチャやビデオディスクの作成など、多様な作業が行えます。



また、CyberLink PowerDirector で、動画の編集をしたり、CyberLink PhotoNow! で、写真の編集をしたり、CyberLink MediaShow で、写真やビデオの管理、編集、共有ができます。写真（スライドショーを含む）を使って、メディアの作成もできます。

ビデオディスクの作成

CyberLink PowerProducer で、デジタルビデオの作品をディスクに書き込むことができます。操作が簡単で、プロ並みのディスクを作成することができます。

注： 以下の説明の詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

ディスク形式の選択

まず、作成するディスクの形式を選択します。ディスクの形式は、使用するディスクドライブの種類、ビデオの長さや画質、再生プレイヤーの種類を考慮して決定します。

CyberLink PowerStarter ウィンドウで選択できる形式は、以下の通りです。

- **ビデオ CD**：低画質のビデオまたはスライドショーを作成。
- **DVD**：長時間、高画質のビデオを作成。
- **ブルーレイディスク***：Blu-ray ディスクプレイヤーで再生する高画質のハイビジョンビデオを作成。
- **AVCHD***：MPEG-4 AVC (H.264) ビデオコーデックの高画質ハイビジョンビデオを作成。

注： * CyberLink DVD Suite Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

メディアのキャプチャ / インポート（読み込み）

ビデオ作品を作るには、まずビデオコンテンツを取得する必要があります。CyberLink PowerProducer に、すでにあるデジタルファイル

をインポートするか、アナログやデジタルの生映像からキャプチャします。

[読み込み]と[キャプチャ]の機能は、[コンテンツ]ウィンドウにあります。



CyberLink PowerProducer がキャプチャ（動画や音声）できる媒体は、以下の通りです。

- DV カメラ
- HDV カメラ
- TV
- PC ウェブカメラ
- VCR

コンテンツをインポートすれば、CyberLink PowerDirector を使って、簡単に編集ができます。詳しくは、40 ページの「ビデオの編集」をご参照ください。

ディスクのメニューページのカスタマイズ

メニューを使用して、完成したディスクをナビゲートします。[メニュー]ウィンドウを使用すると、ディスクメニューの外観をカスタマイズできます。以下が行えます。

- ・ メニュー背景の選択、またはテンプレートからの選択。
- ・ テキストやボタンとテキストを含めたレイアウト全体の変更。
- ・ チャプタ、最初に再生するビデオ、BGM の追加。

[メニューの設定]ウィンドウを開くには、[コンテンツ]ウィンドウの[編集]機能の下の[メニュー]をクリックします。



最終出力

CyberLink PowerProducer には、作品の仕上げ方法がいくつかあり、状況によって使い分けることができます。製作の仕上げとして、作品をディスクに書き込んだり、ディスクイメージとして保存したり、ハードディスクにフォルダを作成してメディアファイルを整理したりします。



書き込み用のドライブやディスクタイプに応じて、複数のオプションを利用することもできます。

ビデオの編集

ビデオを編集したり、トランジションやタイトルを追加したりして、より洗練されたビデオを作成できます。CyberLink PowerDirector には、ビデオを仕上げるためのさまざまなツールが用意されています。

ビデオを編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで[ビデオの編集]を選択します。



注： このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

追加コンテンツの追加

プロジェクトの素材が足りない、または特定の素材を探している場合は、Flickr で写真を、Freesound で音声を、検索、ダウンロード、インポートすることができます。DirectorZone で、PiP オブジェクトやタイトルエフェクトをダウンロードすることもできます。

Flickr から写真をダウンロード

自分の写真を Flickr のアカウントから直接 CyberLink PowerDirector にダウンロードできます。CyberLink PowerDirector のユーザが作成した静止画を検索して、プロジェクトのメディアライブラリにインポートすることもできます。

Freesound から音声をダウンロード

Freesound サービスから、サウンドエフェクトや音楽クリップなどの音声サンプルを CyberLink PowerDirector にダウンロードできます。

DirectorZone からテンプレートをダウンロード

ライブラリに PiP オブジェクトやタイトルエフェクトを追加したい場合は、DirectorZone ホームページの PiP オブジェクトパレットやタイトルエフェクトパレットの  をクリックしてダウンロードすることができます。

CyberLink または CyberLink PowerDirector ユーザが作成し、DirectorZone にアップロードしたテンプレートをダウンロードして追加することができます。

編集オプション

編集機能は、以下の通りです。

- **クリップの分割**：メディアクリップを、タイムラインスライダの現在の位置で2つに分割します。
- **トリム**：外部キャプチャデバイスでキャプチャしたビデオには、不要な部分が先頭やシーン間、または末尾に含まれることがあります。これらの不要部分は、CyberLink PowerDirectorの[トリム]機能を使用してカットします。
- **ビデオクリップのスナップショットをとる**：ビデオクリップからフレームをキャプチャし、ライブラリにそのスナップショットを自動的に読み込みます。
- **ビデオクリップの速度変更**：スローモーション効果や高速モーション効果は、視聴者の注意を引き付け、ムービーのリズムを変えます。
- **フレーム固定エフェクト**：[フレーム固定]ボタンを使うとフレーム固定エフェクトが動画に適用されます。固定するフレームを選択し、[フレーム固定]をクリックするとCyberLink PowerDirectorがそのフレームのスナップショットを撮り、タイムラインに挿入します。ビデオエフェクトやタイトルテンプレートに挿入することもできます。
- **音声ミキシングパレットで音声レベルをミキシングする**：[音声ミキシングパレット]の[音声ミキサー]で、作業領域にある音声クリップの音声レベルを調整します。
- **音声クリップにフェード効果を追加する**：音声クリップにフェードイン/フェードアウト効果を適用して、ビデオに効果的なサウンドトラックをつけます。

Magic ツール

CyberLink PowerDirector の Magic ツールを使用すると、音声、動画、静止画クリップをより効果的に演出できます。Magic ツールの内容は、以下の通りです。

- **Magic Movie ウィザード** : 初めて編集する場合や、編集の始め方がわからない場合には、Magic Movie ウィザードが役に立ちます。Magic Movie ウィザードを使うと、簡単に質の高い映像作品を作成することができます。
- **静止画クリップに Magic Clean を実行する** : 静止画クリップに CyberLink PowerDirector の Magic Clean ツールを適用すると、画像がより鮮明になります。
- **動画クリップに Magic Clean を実行する** : 動画クリップに CyberLink PowerDirector の Magic Clean ツールを適用すると、ビデオ出力がより鮮明になります。
- **音声クリップに Magic Clean を実行する** : Magic Clean ツール (CLNR : CyberLink ノイズリダクション技術を採用) を使用すると、出力音声の質が向上します。
- **Magic Cut** : Magic Cut ツールは、長いビデオセグメントを短いクリップにする場合、たとえば、1時間のビデオを10分に編集するような場合に便利です。
- **Magic Fix** : CyberLink PowerDirector の Magic Fix ツールを使用すると、手ぶれしたビデオやピンボケの写真、赤目を修整できます。
- **Magic Style** : CyberLink PowerDirector の Magic Style ツールを使用すると、クリップを完成したムービーに変換できます。

エフェクトの追加

CyberLink PowerDirector を使うと、ホームビデオにさまざまなエフェクトが追加できます。

- **エフェクト**：ムービーの動画や静止画クリップに特殊効果を追加。
- **PiPオブジェクト**：PiPトラックの動画や静止画クリップにグラフィックを追加。
- **トランジションエフェクト**：ムービーにトランジションエフェクトを追加して、プロ級の作品を作成。
- **タイトルエフェクト**：テキストや画像を追加して、クリエイティブなタイトルを作成。

ムービーの出力

編集処理が完了したら、動画に最終的な処理を行います。出力ウィザードを使って、動画のパーツをさまざまな形式のファイルにまとめ、再生したり、他人と共有したり、ディスクに焼いたりします。CyberLink PowerDirector でムービーを出力するには、**出力** をクリックして出力ウィザードの指示に従います。

写真の編集

CyberLink PhotoNow! を使用すると、写真の輝度やコントラストを調整したり、赤目を修正したりできます。

写真を編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで [**写真の編集**] を選択します。



PhotoNow! の機能は、以下の通りです。

- ・ レベル、コントラスト、均等化の自動調整。
- ・ 輝度、コントラスト、彩度、鮮明度の手動調整。
- ・ 赤目の自動および手動修正。
- ・ トリミング、サイズ変更、回転機能。
- ・ カスタマイズした特殊効果。

注 : このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

写真とビデオの管理

CyberLink MediaShow を使うと、3D インターフェイスでビデオや写真の管理や編集ができます。メディアを直接 Flickr や YouTube で共有することができます。また、写真（スライドショーを含む）を使って、メディアの作成もできます。

機能ボタン：
数々の便利な機能を
即座に実行

トレイ： スライドショーに表示するメディアを
保管、DVD への書込み、など



ライブラリ： アルバム、フォルダ、**メディアウィンドウ：** インポートしたタグ毎に、すべてのメディアファイルを整理
したすべてのメディアのサムネイル（サイズ調整可能）を保存

注： このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプファイルを参照してください。

メディアライブラリ

ライブラリは、メディアのトラックの整理や保管ができます。メディアをインポートする場合、CyberLink MediaShow はすべてのメディアをフォルダ別にカテゴリ分けし、検索が簡単です。

CyberLink MediaShow は、プログラムを起動するたびにライブラリ内のフォルダをスキャンし、新しいメディアを探します。

ライブラリの構成は以下の通りです。

- ・ライブラリにメディアをインポートする
- ・フォルダ
- ・タグ

ライブラリにメディアをインポートする

CyberLink MediaShow を最初に起動するとき、写真やビデオのインポートを説明するウィザードが起動します。

登録されていないメディア、最初のインポートの後にインポートされているメディア、または外部/取り外し可能デバイスにメディアがある場合は、[インポート]ウィンドウを使用して CyberLink MediaShow にインポートします。CyberLink MediaShow ウィンドウで写真やビデオをドラッグ&ドロップして、プログラムにインポートすることもできます。

メディアウィンドウ

メディアウィンドウには、CyberLink MediaShow にインポートしたすべてのメディアのサムネイルが含まれます。

メディアウィンドウには数々のオプションがあります。写真またはビデオを右クリックすると機能の一覧が表示されます。

メディアウィンドウのサムネイルは以下の方法で動的にサイズを変更することができます。

- ・ ウィンドウ右下隅のスライダを使用。



- ・ [ビュー]、>[サムネイル]を選択して希望するサイズを選択。

メディアを検索する

メディアウィンドウで特定のメディアファイルまたはフォルダが見つけれない場合は、検索機能を使用して検索することができます。プログラムウィンドウ右上にある検索欄に検索のキーワードを入力すると、そのキーワードでメディアウィンドウのメディアファイルをフィルタします。



トレイ

[トレイ]は、アルバムに追加、スライドショーで表示、またはDVDに入れたいメディアを保管しておく便利なスペースです。

メディアウィンドウの別のフォルダでメディアを表示している場合、写真またはビデオをクリックするとトレイにそのサムネイルを表示します。

写真またはビデオをトレイに保管しておいて後で使いたい場合は、[保持]をクリックします。トレイに保管されてる写真/ビデオは、選択して[クリア]ボタンをクリックするまでトレイに保管されます。

お気に入り

CyberLink MediaShow は、お気に入りの写真やビデオを[お気に入り]に追加することができます。[お気に入り]にメディアを追加すると、[アルバム]の[お気に入りメディア]フォルダに追加されます。このフォルダはメディアの表示やディスクへの追加が簡単にできます。

写真の補正

CyberLink MediaShowには、写真に作成効果を追加する、スライドショーおよびディスクの準備としてさまざまな修正を加えるなど、数々の編集機能があります。

[比較]機能を使うと、写真に行われた変更を見ることができます。



写真の微調整

写真の輝度、コントラスト、彩度、ホワイトバランスまたは鮮明度を手で調整したい場合は[微調整]機能を使用します。写真の設定を手で調整するには、[微調整]をクリックしてからスライダを使用して調整します。

写真効果

CyberLink MediaShow を使用して、写真に表示効果および色効果を追加します。[効果] ボタンをクリックして、[写真効果] ウィンドウを開き、クリエイティブな効果のオプションのうち、一つを適用します。

写真の説明、情報、タグ

CyberLink MediaShow は写真に関する詳細情報を表示するほか、写真に説明やタグを追加することができます。

一括編集

[一括編集] 機能は、写真のメインウィンドウにあります。複数の写真を選択し、[一括編集] ドロップダウンから希望する編集機能を選択して、すべてに編集を適用します。

写真を使ってメディアを作成

CyberLink MediaShow では、写真を使って、スクリーンセーバーやディスクに書き込み可能なスライドショービデオなど、さまざまなタイプのメディアが作成可能です。写真を使ってメディアを作成するには、写真のメインウィンドウで[作成] をクリックします。

写真をデスクトップの背景に設定する

ライブラリの写真をデスクトップの背景に設定できます。

スクリーンセーバーの作成

CyberLink MediaShow を使って、メディアライブラリの写真でスクリーンセーバーを作成します。

スライドショームービーの作成

スライドショームービーは、WMV または MPEG-2 形式で作成します。この形式は、ディスクへの書込み、メール送信、またはインターネットへのアップロードが可能です。

写真の共有

CyberLink MediaShow を使うと、写真をメール送信したり、Flickr にアップロードしたりして、友人、家族、世界中の人と共有できます。共有するには、写真のメインウィンドウで **[共有]** を選択します。

写真をメール送信する

CyberLink MediaShow を使って、ライブラリの写真を友人や家族にメール送信することができます。

Flickr に写真をアップロードする

CyberLink MediaShow のライブラリから、写真を Flickr 写真共有ウェブサービスに直接アップロードできます。

ビデオの補正

CyberLink MediaShow には、ディスクの書き込み準備のための修正など数々の編集機能があります。



ビデオの修正

CyberLink MediaShow には、ビデオを素早く修正する機能（自動修正やビデオスタビライザー機能など）があります。[修正]ボタンをクリックすると[ビデオ修正]ウィンドウが開きます。

- **手ブレビデオの補正**：このオプションを選択すると、自動的にビデオのブレを修正します。
- **明暗自動修正**：このオプションを選択すると、ビデオの明暗を自動調整します。
- **背景ノイズの削減**：このオプションを使用すると、オーディオトラックの背景ノイズを除去します。スライダーをドラッグしてフィルタする度合いを設定します。

ビデオの微調整

ビデオの輝度、コントラスト、彩度、ホワイトバランスを手動で調整したい場合は、[微調整]機能を使用します。ビデオの設定を手動で調整するには、[微調整]をクリックしてからスライダを使用して調整します。

ビデオの説明、情報、タグ

CyberLink MediaShow はビデオに関する詳細情報を表示するほか、ビデオに説明やタグを追加することができます。

ビデオを共有する

CyberLink MediaShow を使うと、ビデオをメール送信したり、YouTube® にアップロードしたりして、友人、家族、世界中の人と共有できます。共有するには、ビデオのメインウィンドウで[共有]を選択します。

ビデオをメール送信する

CyberLink MediaShow からライブラリのビデオを友人や家族にメール送信することができます。

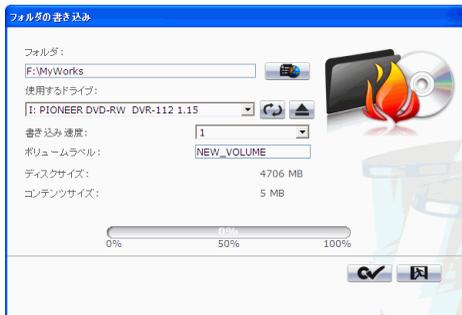
YouTube にビデオをアップロードする

CyberLink MediaShow のライブラリからビデオを YouTube ビデオ共有ウェブサービスに直接アップロードできます。

DVD フォルダの書き込み

作成済みの DVD フォルダは、ディスクに書き込んで保存できます。
DVD フォルダを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[DVD フォルダの書き込み]** を選択します。



2. ディスクを挿入してドライブを選択します。
3.  をクリックし、書き込むフォルダを選択します。
4. **[開始]** をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

注： このプログラムに関する詳細は、製品に付属のヘルプファイルを参照してください。

第6章：

コピー&バックアップ

CyberLink DVD Suite を使用すると、CyberLink Power2Go でデータ DVD や CD を簡単にコピーできます。また、CSS 保護されていない DVD ビデオは、CyberLink PowerDVD Copy でコピーできます。さらに、CyberLink PowerBackup を使用すると、データをすべてバックアップし、必要に応じてリストアすることもできます。



データディスクのコピー

ディスクコピーオプションでは、各種ディスク形式にコピーを作成できます。ただし、コピー元とコピー先のディスクは同じ形式でなくてはなりません。（たとえば、CDの内容をDVDにコピーすることはできません。）

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、コピー元となるデータディスクのタイプ（Blu-ray ディスク / DVD / CD）を選択します。



2. 読み取りドライブと書き込みドライブを選択します。
3. **[コピー]**をクリックします。CyberLink Power2Go は、コピーしたデータをディスクに書き込みます。
4. 書き込みが完了したら、ダイアログボックスからオプションを選択して以下を行います。
 - 書き込みログを表示するには、**[ログの表示]**をクリックしてください。ログはデフォルトのテキストエディタで開き、見たり、保存したりすることができます。
 - **[OK]**をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。

ムービー DVD のコピー

CyberLink PowerDVD Copy は、DVD ムービーをディスクやハードドライブからバックアップ DVD にコピーするための専用ツールです。DVD フォルダをハードドライブに作成したり、ムービーとして DVD に書き込んだりできます。選びやすいオプションや、シンプルなインターフェイスにより、DVD コピー操作を簡単に行えます。

ムービー DVD をコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで [**ムービー DVD のコピー**] を選択します。
2. CyberLink PowerDVD Copy ウィンドウで、コピーするムービー DVD のビデオソースを選択します。



3. ムービー DVD のコピー先を選択します。
4. コンテンツの一部をコピーする場合、 ボタンをクリックして、コピーする DVD のコンテンツを選択します。

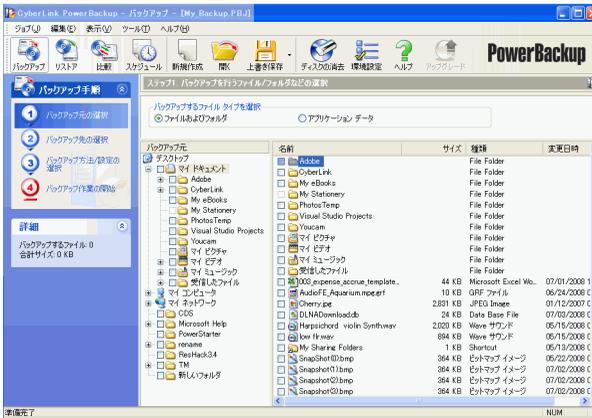
5.  をクリックします。CyberLink PowerDVD は、ムービーをディスクに書き込みます。

PC のバックアップとリストア

データのバックアップはセキュリティにおける重要な作業のひとつです。これにより、災害やディスクエラーの発生時、またハッカーやウイルスによる攻撃を受けた場合などに、膨大な時間と費用を節約することができます。重要なデータを別の媒体にバックアップしておけば、データを元の状態にすみやかに戻すことができます。

データのバックアップ

データをバックアップするには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで [PC のバックアップ] を選択し、次の操作を行います。



ステップ 1-バックアップ元の選択

バックアップウィンドウにある 2 つのファイルディレクトリウィンドウで、バックアップするファイルやフォルダを探して選択します。(これらのペインは、Windows Explorer と同じように機能します。) バックアップするファイルの種類に応じて、ディレクトリウィンドウの上にある [ファイルおよびフォルダ] または [アプリケーションデータ] を選択します。

ステップ 2 - バックアップ先の選択

[バックアップ先の選択]をクリックし、バックアップ先を設定します。

- ・ **バックアップ先** : ドロップダウン ボックスからバックアップ先を選択します。ハードウェア環境によっては、バックアップ先として、ハードディスクやディスクの書き込みドライブも選択することができます。
- ・ **バックアップファイル名** : 各バックアップ ファイルに固有の名前がつけられます。バックアップ ファイルを別のディレクトリに保存するには、[参照]をクリックして、使用するフォルダを選択します。
- ・ **リストアツールを含む** : 実行可能 (.exe) ファイルを作成して、PowerBackup プログラムがインストールされていないコンピュータでもデータを復元できるようにする場合、これを選択します。
- ・ **バックアップファイルの分割設定** : バックアップファイルを指定したサイズに分割します。

ステップ 3 - バックアップ方法の選択

[バックアップ方法の選択]をクリックし、使用するバックアップ方法（必要であれば、詳細方法も）を選択します。

- ・ バックアップ方法には、[すべてバックアップする]、[差分をバックアップする]、[増分をバックアップする]があります。
- ・ その他のオプションを表示するには、[オプション]をクリックします。

注 : この機能は製品のバージョンによって異なるため、一部の機能はご利用になれない場合があります。

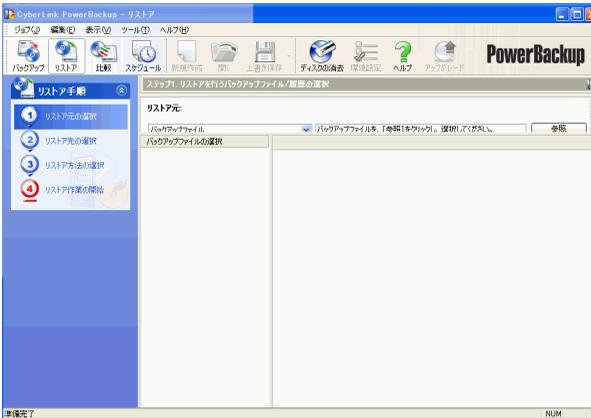
ステップ 4 - ファイルのバックアップ

[ファイルのバックアップ] をクリックします。設定が正しいか確認し、いずれかのボタンをクリックしてバックアップを開始します。

- [バックアップの開始] をクリックし、すぐにバックアップを開始します。
- [スケジュールに追加] をクリックして、今後のバックアップのスケジュールを設定します。

データのリストア

バックアップの後にデータをリストアするには、CyberLink Power2Go ウィンドウで [PC のリストア] を選択し、次の操作を行います。



ステップ 1 - リストア元の選択

リストアウィンドウで [リストア元] ドロップダウンボックスでリストアするソースを選択します。

- ・ **バックアップファイル**：既存のバックアップファイルからリストアします。バックアップファイルを開くには、[参照]をクリックし、使用するファイルを探して開きます。
 - ・ **バックアップの履歴**：以前のバックアップの記録からリストアします。（[バックアップの履歴]から記録を削除するには、[編集]>の[バックアップの履歴を削除]または[バックアップの履歴をすべて削除]を使用します。）
 - ・ **ディスクドライブ**：ディスクからリストアします。
- リストア元を選択したら、リストアするファイルを選択します。

ステップ 2 - リストア先の選択

[リストア先の選択]をクリックし、リストア先を設定します。

- ・ **オリジナルのファイルパス**：ファイルがバックアップされた際にあった元の場所にリストアします。
- ・ **特定のファイルパス**：新しい場所にリストアします。新しいディレクトリを設定するには、[参照]をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。
- ・ **特定のファイルパス（フォルダ構成を保持しない）**：バックアップしたファイルすべてを、単一の新しいディレクトリにリストアします。新しいディレクトリを設定するには、[参照]をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。

ステップ 3 - リストア方法の選択

[リストア方法の選択]をクリックし、リストア方法を選択します。

- ・ **上書きしない**：ハードドライブにないファイルのみをリストアし、既存のファイルは上書きしません。
- ・ **新しいファイルのみ上書きする**：バックアップコピーのほうが新しい場合、ハードドライブにあるファイルを上書きしません。
- ・ **常にファイルを上書きする**：毎回、バックアップコピーでハードドライブにあるファイルを上書きします。

- ・ **上書きに関する確認を表示する** : どちらのファイルを残すか、確認メッセージが表示されます。

ステップ4- ファイルのリストア

[**リストア作業の開始**]をクリックし、設定が正しいことを確認します。[**リストアの開始**]をクリックして、すぐにリストアします。

第7章：

ユーティリティ

CyberLink DVD Suite には、書き換え可能なディスクのデータ消去など、便利なユーティリティが多数入っています。また、CyberLink LabelPrint を使用してプロ並のラベルを作成、印刷したり、ディスクイメージを作成、書き込んだりすることもできます。

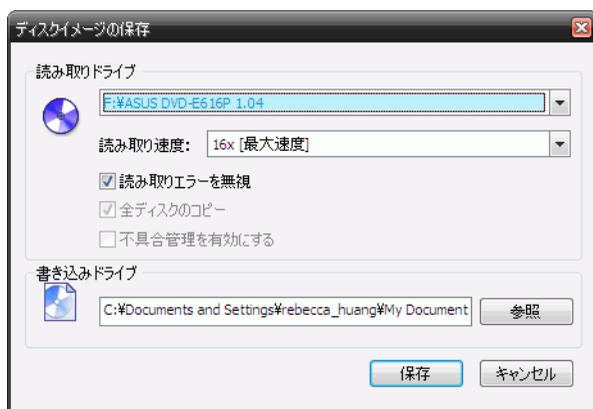


ディスクイメージの作成

ディスクイメージを作成してハードディスクに保存しておく、コンピュータのバックアップをあとでディスクに書き込むときに便利です。

ディスクイメージを保存する方法は、以下の通りです。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[ディスクイメージの作成]** を選択します。



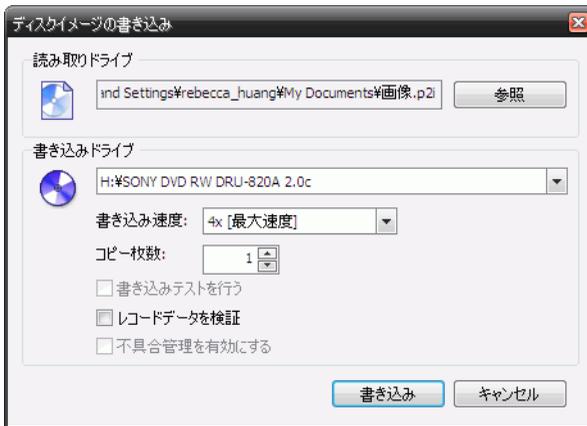
2. ディスクをセットし、必要に応じてディスクからのイメージ作成ウィンドウの **[読み取りドライブ]** ドロップダウンボックスでソースを指定します。
3. **[書き込みドライブ]** 入力ボックスに保存先のフォルダとディスクイメージファイル名を入力するか、**[参照 ...]** をクリックしてフォルダを選択し、ディスクイメージファイル名を入力します。
4. **[保存]** をクリックしてディスクイメージを保存します。

ディスクイメージの書き込み

ディスクイメージの書き込みにより、保存してあるディスクイメージをディスクに保存したり、CyberLink Image Recorder で作成したディスクイメージを書き込んだりできます。

ディスクイメージを書き込む方法は、以下の通りです。

1. CyberLink Power2Go ウィンドウで [ディスクイメージの書き込み] を選択します。



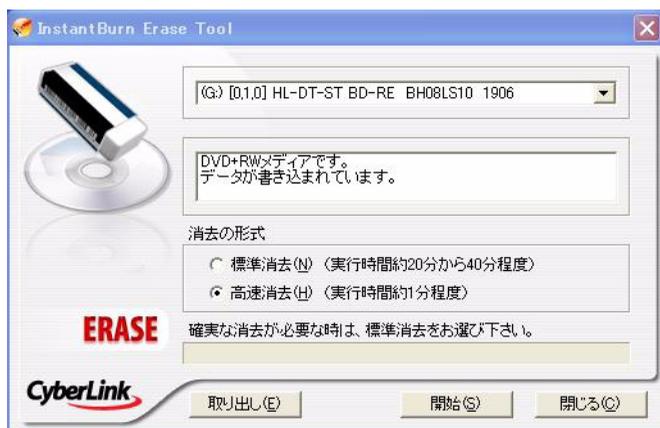
2. [参照...] をクリックして、ディスクイメージを探します。
3. ディスクを挿入して、ドロップダウンリストでドライブを選択します。
4. [書き込み] をクリックすると、ディスクへの書き込みが開始します。

ディスクの消去

書き換え可能なディスクであれば、以前に書き込んだコンテンツを消去できます。これにより、同じディスクを何度も使用することができます。

ディスクを消去する方法は、以下の通りです。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで [ディスクの消去] を選択します。
2. ディスクを挿入して、[Erase Tool] ウィンドウで書き込みドライブを選択します。



3. 消去方法を選択します。
 - [標準消去] を選択すると、ディスクのコンテンツすべてを消去します。
 - [高速消去] を選択すると、ディスクの管理領域だけが消去されます。
4. [開始] をクリックして開始します。タスクが終了したら、ステータスに関するメッセージが画面に表示されます。

ディスクラベルの印刷

CyberLink LabelPrint はさまざまなレイアウト形式に対応します。また LightScribe と Labelflash 技術によるディスクへの直接印刷をはじめとする、多くの印刷オプションがあります。

注： このアプリケーションと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ラベルを作成するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで[ラベルの印刷]を選択します。



ステップ 1 - ラベル種類の選択

まず、印刷するラベルの種類を選択します。LightScribe ラベル、Labelflash ラベル、ディスクラベル、ミニディスクラベル、フロントジャケット（表）、フロントジャケット（裏）、リアジャケットから選択します。

ステップ 2 - ラベルテキストの編集

タイトルなどのディスク情報を追加または編集し、ディスクを識別できるようにします。また、コンテンツの情報を追加または編集し、ディスクに保存されているファイルがわかるようにします。この操作は、[ディスク情報の編集]ページで行えます。

ステップ 3 - レイアウトの編集

レイアウトを選択し、フォントを変更し、カスタムの背景画像を使って、より個性的なディスクラベルを作成します。方法は、以下の通りです。

- ・ ラベルのレイアウトを選択します。
- ・ 背景静止画を追加します。
- ・ テキストを追加 / 変更します。

ステップ 4 - 印刷

CyberLink LabelPrint を使ってラベルを印刷します。印刷可能なものは以下の通りです。

- ・ **普通紙**：プリンタが対応する用紙に印刷。
- ・ **ラベル用紙**：ラベル用の専用紙に印刷。
- ・ **ディスク**：ディスクに直接印刷。紙は不要ですが、LightScribe か Labelflash 専用の書き込みドライブとディスクが必要。

第8章：

テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報が記載されています。販売店 / ディーラーにお問い合わせいただくこともできます。

この章は以下の内容を説明しています。

- ・ 「テクニカルサポートにお問い合わせになる前に」 72 ページ
- ・ 「Web サポート」 73 ページ

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

CyberLink の無料テクニカルサポートをご利用ください。

- プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたはオンラインヘルプで調べる。
- CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ (よくある質問) を参照する。

http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp

FAQ にはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報が含まれています。

電子メールや電話でお問い合わせいただく前に、次の情報をご用意ください。

- 登録した **アクティベーションキー** (アクティベーションキーは CD ケース、箱、または CyberLink ストアで DVD Suite を購入した際に受け取った電子メールに明示されています。)
- 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザーインターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- コンピュータにインストールしている Windows のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容 (書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。

Web サポート

CyberLink のテクニカルサポートページは 1 日 24 時間、無料でご利用いただけます。

注 : CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバー登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティフォーラムなど豊富な Web サポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/CS/support/enu/support_index.jsp
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/CS/support/cht/support_index.jsp
日本語	http://jp.cyberlink.com/jpn/support_jpn/support_index.jsp
イタリア語	http://it.cyberlink.com/CS/support/ita/support_index.jsp
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/CS/support/deu/support_index.jsp
フランス語	http://fr.cyberlink.com/CS/support/fra/support_index.jsp
スペイン語	http://es.cyberlink.com/CS/support/esp/support_index.jsp

索引

A

AVCHD 36

B

Blu-ray ディスク 36
プレイヤー 23
再生 25
設定 33

C

CD
音楽の取り込み元 16
CyberLink 製品ウィンドウ 8

D

DirectorZone
テンプレートのダウンロード
41
DVD 36
プレイヤー 23
再生 25

F

Flickr 41

I

InstantBurn
InstantBurn の使い方 21
ディスクの消去 68
対応するディスク 22

L

LabelPrint 69
LightScribe 70

M

Magic Movie ウィザード 43
Magic ツール 43
MediaShow
スライドショーの作成 50
ビデオの共有 53
ビデオの補正 52
写真とビデオの管理 46
写真の共有 51
写真の補正 49
MoovieLive

概要 29

設定 32

Movie Remix 30

再生 25

設定 32

P

PiP オブジェクト

ダウンロード 41

Power2Go

オーディオ CD の取り込み 16

ディスクイメージの作成 66

ディスクイメージの書き込み
67

ディスクのコピー 56

データディスクの書き込み
18

音楽ディスクの作成 14

音楽ディスクの書き込み 14

PowerBackup

データのバックアップ 59

データのリストア 61

PowerDirector

Magic ツールの使用 43

エフェクトの追加 44

PowerDVD 23

設定

スキン 31

プレイヤー 31

映像 32

音声 33

情報 33

PowerDVD Copy

ムービーディスクのコピー

57

PowerProducer

DVD フォルダの書き込み 54

ムービーディスクの作成 36

メディアのキャプチャ/読み込
み 36

最終出力 39

PowerStarter 3

S

SVCD

再生 25

T

TrueTheater

Lighting 32

V

VCD

再生 25

あ

新しいファイルのみ上書きするオ
プション 62

アップグレード 6

あとでバックアップするように設
定 61

い

一括編集、写真 50

印刷

 ディスクラベル 69

 メディア 70

印刷可能なメディア 70

インターフェイスの背景 8

インポート

 写真 41

う

上書き確認を表示するオプション
63

上書きしないオプション 62

え

エフェクト 44

お

オーディオトラック、ハードディ
スクへ取り込み 16

オートレジューム 25

お気に入り

 メディアの追加 / 削除 48

 概要 48

お気に入りから削除 4

お気に入りに追加 4

お気に入りメニュー 4

オリジナルのファイルパスオプ

ション 62

音楽

 ハードドライブに取り込み
 16

音楽メニュー 5

音声

 背景ノイズの削減 52

音声切り換え 27

音声の設定 33

音声の取り込み

 手順 16

か

書き込み

 ディスクイメージ 67

 データディスク 18

書込み

 DVD フォルダ 54

き

輝度

 ビデオの微調整 53

 写真の微調整 49

機能ボタン 46

共有

 ビデオ 53

 写真 51

<

クイックアクセスボタン 7

け

検索

- アルバム 14
- アーティスト 14
- ジャンル 14
- 最近追加 14
- 年 14

こ

- 効果、写真 50
- 高速消去 68
- 高速モーション 42
- コピー & バックアップメニュー 5
- コントラスト
 - ビデオの微調整 53
 - 写真の微調整 49
- コントロール 26
 - メイン 26

さ

- 最近作成したドキュメント 18
- 最近のデータタブ 18
- 最近開いたドキュメント 18
- 再生
 - Movie Remix 25
 - コントロール 26
 - ディスク、ビデオファイル、オーディオファイル 24
- 彩度
 - ビデオの微調整 53

写真の微調整 49

作成

- Blu-ray ディスク 36
- CD
 - VCD 36
- DivX 36
- DVD 36
- SVCD 36
- VCD 36
- スクリーンセーバー 50
- スライドショー 46
- ディスクラベル 69
- ムービーディスク 36

サムネイル

- サムネイルのサイズ変更 47
- サムネイルのサイズ変更 47

し

- システム要件 11
- 字幕
 - Read-It-Clearly 32

写真

- サムネイルのサイズ変更 47
- スクリーンセーバー 50
- 一括編集 50
- 共有 51
- 検索対象 48
- 効果 50
- 背景に設定 50
- 比較 49
- 微調整 49
- 補正 49
- 写真の微調整 49, 53
- 修正

ビデオ 52

す

スクリーンセーバー
作成 50

スピーカ環境の選択 33
スライドショー、作成 50
スローモーション 42

せ

設定 7, 31
Blu-ray ディスク 33
MoovieLive 32
Movie Remix 32
鮮明度、写真の微調整 49

そ

ソース
選択 25
ソースの選択 25
速度
ビデオクリップ 42

た

対応するディスクとファイル形式
24
タイトルエフェクト
ダウンロード 41
ダイナミックスクロールバー 26

ダウンロード

PiP テンプレート 41
タイトルテンプレート 41
写真 41
素材 41

つ

常にファイルを上書きする 62

て

ディスクイメージ
書き込み 67
保存 66
ディスク形式
対応 24
ディスクタイプ
対応 24
ディスクのコピー 56
ディスクの消去
手順 68
ディスクメニュー
カスタマイズ 38
ディスクメニューのカスタマイズ
38
ディスクユーティリティ
ディスクイメージの書き込み
67
ディスクイメージを保存 66
ディスクの消去 68
音声の取り込み 16
データのバックアップ 59
データのリストア 61

データメニュー 5

と

動画

速度 42

特定のファイルパスオプション
62

特定のファイルパス（フォルダ構
成を保持しない）オプション 62
トレイ、概要 48

は

バージョン表 9

背景

画像 8

バックアップの履歴 62

バックアップの履歴をすべて削除
62

バックアップの履歴を削除 62

バックアップファイルの分割 60

ひ

比較 49

ビデオ

サムネイルのサイズ変更 47

共有 53

検索対象 48

手ブレビデオの補正 52

修正 52

背景ノイズの削減 52

補正 52

明暗自動調整 52

ビデオ CD 36

ビデオ&フォトメニュー 5

標準消去 68

ふ

ファイルディレクトリペイン 59

ファイル形式

対応 24

普通紙 70

フルスクリーン 31

フレーム固定 42

へ

編集

ビデオ 40

ビデオ修正 52

写真 45

ほ

補正

ビデオ 52

写真 49

手ブレビデオ 52

ホットキー 26

ホワイトバランス

ビデオの微調整 53

写真の微調整 49

む

- ムービーDVDのコピー 57
- ムービーコレクション 30
- ムービー情報ページ 29
- ムービープレイヤーメニュー 5

め

- 明暗調整
 - ビデオ - 自動 52
- メディア
 - サイズ変更 47
 - 検索対象 48
- メディアウィンドウ
 - サムネイルのサイズ変更 47
 - 概要 47
- メディアタブ 14
- メディアのキャプチャ / インポート 36
- メディアの検索 48
- メディアライブラリサービス 14, 18

ゆ

- ユーティリティメニュー 6

よ

- 用紙テンプレート 70

ら

- ライブラリ
 - 概要 47
 - 検索 48

り

- リストアツール 60

ろ

- ログの表示 15, 19

